

進めています!

自己改革

今、私たちは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの目標を掲げ、平成31年3月までに一定の成果を上げることを目指し、佐賀農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。

自己改革について十分な結果が残せるように、私たちは、その具体策を3カ年計画や各事業年度の計画に盛り込んで進めており、その主だった取り組みと進捗状況等を次のとおり報告します。

まだまだ、組合員の皆さんの期待・要望に、十分応えきれていない部分は多いと思いますが、これからも組合員の皆さんの声を聴き、真剣に議論して確かな方向性を見出す協同組合としての自己改革を進めていきます。



農業者の所得増大につながる取り組み

1 県域企画応援事業の周知と活用を図ります。

中期3カ年計画にそった営農推進の展開により、振興野菜の作付面積拡大に努めます。

① 補助事業・県域企画応援事業等を活用した作付面積拡大と新規就農者の確保

(H29年度計画 胡瓜ハウス2戸・苺高設1戸・アスパラハウス3戸 その他に、果樹棚等の長寿命化、機械類)

② 環境制御技術など各作物に適した新技術の導入や普及拡大による反収の向上

③ 施設ハウス、リース事業等の取り組みによる新規就農者支援を図る。

2 JA独自の米直接販売方式導入により有利販売を目指します。

新たな販売先の開拓とJA伊万里米直接販売の拡大による伊万里産農畜産物の有利販売に努めます。

① JA伊万里独自販売(米の複数品種での検討、直売所向け数量の拡大)

② 伊万里産米のブランド強化及び国産長粒米(ホシユタカ)の商品開発と販路拡大による販売強化
(加工品・ギフト商品の開発・ネット販売の開発の検討)

3 加工品の生産から末端販売先まで、一貫体制の確立・拡大に取り組みます。

顧客ニーズに応じた新規格対応強化と6次産業化による高付加価値製造・販売に努め、加工事業の活性化に努めます。

① 既存及び新規取引先のニーズに対応した新規格の提案と商品化

② 加工品等の内容充実および販売先と呼応した流通確立

③ ふるさと納税返礼品へのJA伊万里特産品セットの販売充実

組合員の皆さんの期待・要望に応えるため、

JAは自己改革に取り組んでいることをご理解ください。